「永山まちづくり推進協議会」会議録　（令和４年度第１回）

〇日　時　　　令和４年５月１２日（木）　午後６時～午後７時１０分
〇場　所　　　永山公民館　２階　講堂
〇出席者　　　・委員１７名（５０音順）　　（欠席者３名）
　石本委員，上野委員，葛西委員，紙谷委員，北村委員，桑畠委員，
　佐々木委員，塩尻委員，杉山委員，高橋委員，高山委員，辻委員，
　土田委員，豊島委員，松本委員，宮腰委員，村井委員
・林市民生活部長
・事務局職員３名
　永山支所長，同副支所長，永山公民館長
・福祉保険部福祉保険課３名，地域まるごと支援員２名
〇会議の公開・非公開　　公開
〇傍聴者の数　なし
〇会議資料
・会議次第
・永山まちづくり推進協議会委員名簿
・永山まちづくり実行委員会令和４年度地域活動計画（抜粋）
・令和４年度「永山まちづくり推進協議会」兼「永山まちづくり実行委員会」年間スケジュール
・地域で使える補助制度

※当会議録中では，次のとおり表記する。
・永山まちづくり推進協議会を「協議会」という。

１　開　会

２　市民生活部長挨拶
　第１回の協議会の開催に当たり，市民生活部長から，これまでの地域活動に対する感謝と今後ともまちづくり推進協議会への御協力をお願いしたい旨の挨拶があった。

３　地域まるごと支援員の紹介
　福祉保険部から地域まるごと支援員の紹介と活動内容の説明があった。

４　委員紹介，事務局紹介
　事務局から出席委員と事務局職員の紹介を行った。

５　会議の運営方法について
(1)　役員選出

事務局から協議会及び本実行委員会の組織について説明を行った後，会長の選出に入り，委員から桑畠委員を推薦する発言があり，他の委員からは異議が無い旨の発言があったことから，桑畠委員を会長に選出した。

会長から就任の挨拶があった後，副会長等の選出に入り，会長からそれぞれ指名があったことを受け，葛西副会長（挨拶あり），辻会計及び高橋監査を選出した。

(2) 会議の進め方，ルールについて

事務局から会議の進め方及び会議ルールについて説明があった。

６　議　事

(1) 事務局から令和４年度永山地域活動計画，スケジュール，永山まちづくり推進プログラム，地域まちづくり補助金について一括して説明があった。

(2) 永山地域の今後について

今後の活動内容や課題などについて意見交換を行った。委員の主な発言は次のとおり。

(委員)

高齢者は介護保険でまかないきれないゴミ出し，電球交換などのちょっとしたことで困っている。また，一部のボランティアに負担がかかり，手が足りていないのも現状である。需要と供給のバランスが取れていないのではと思い，こういった問題点を発掘するアンケートの実施や，ボランティアの養成に取り組む予定である。

(委員)

まるごと支援員の紹介があったが，８０５０問題の家庭や入院を嫌がる高齢者といった相談が増えており，がん末期患者の支援が続いたことからも，医療と連携がこれまで以上に必要であると感じている。

高齢者は思ったより低栄養で，集まる場がないとか，食事ができないなどといったことは永山地域だけの問題ではない。これからも介護予防につながる運動，食事といったことに取り組んでいきたい。また，元気な人を活かしたことも取り組んでいきたい。

(委員)

市民委員会として皆さんにお力添えしていきたい。

コロナで思ったような活動はできていない。去年の今頃は毎日２０名くらいの感染者で緊急事態宣言が出ていたのに，今日は２００名を超え，マンネリ化していて危険。気をつけて活動するのにも厳しい状況であり，行事もおろそかになっていると感じる。

(委員)

皆さんと同様，ウィズコロナの対応に苦慮している。

(委員)

永山に住んでおり観光農園を運営しているが，去年より人が動き，活気が出てきているが，以前までは戻っていない。年間パスポートが売れており，地元の利用が増えた。また，高齢者が健康のために訪れ，歩いてひとやすみしている。

(会長)

まち協でツアーを組んでもおもしろいですね。

（委員）

栄養調査を行ったが，追跡調査ができておらず，改善に至っていないのが急ぐべき課題である。医療機関にお世話になる前の健康維持が大事だが，どうやって手を差し伸べたらいいかあせっているところ。

東川町がまちぐるみで子育て支援の方々へのサポートが必要。また，そういう世代を巻き込み高齢者との場を提供するしかけをどうしたらいいか考えている。

（委員）

永山の黒豆を使った製品を製造・販売している。地域の地場産品を使っていくのは柱であり，小麦や地場産品を使った製品などの協力ができるが，どんな風にできるだろうと思っている。

（委員）

コロナで地域との繋がりが希薄になり，従前できていたことが２年間できなかった。今年は販売会も企画し，コントロールしながらやっていく。インターンシップの活動など，動けないが手を変え品を変えなんとかやっているところである。

7　その他

(1) 委員から忙しい中参集している会議の時間の使い方について，事務局からの説明に時間を割くのではなく，委員間の意見交換が活発にできるよう運営方法を見直すよう意見があった。

(2) 事務局から「市民の日」について説明があった

7　閉　会

以　上